

令和5年度事業報告

(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)

法人会を取り巻く環境は依然と厳しい状況の中、全国の法人会員とともに「税のオピニオンリーダー」として、税知識の普及、納税意識の高揚や地域社会貢献活動に取り組みました。

令和5年度は、税に関する説明会・研修会や年金・労務など幅広い分野での説明会・研修会・セミナーを開催するとともに、租税教室・租税教育バスや税に関する絵はがきコンクールの実施など租税教育事業も積極的に推進しました。また、地域との共生を目指した社会貢献活動として児童養護施設への寄附や保育園等への手作り雑巾の寄贈のほか、能登半島地震で被災した氷見市、高岡市、射水市に災害復旧のための支援金を贈りました。

以下に掲げる項目における事業の取組み状況について、ご報告いたします。

□ 公益関係

1 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

(1) 税務に関する説明会・研修会・講演会事業

会員はじめ広く一般の企業及び市民を対象に、税法・税務を中心とした説明会・研修会・税を考える週間特別講演会・セミナーを実施し、税知識の普及による納税意識の高揚に努めました。令和5年度も前年度に引き続き、各支部税務研修会において、消費税インボイス制度と電子帳簿保存法の説明を行いました。

① 説明会

改正税法説明会、年末調整説明会

② 研修会

決算期別研修会 4回

法人税実務講座（初級4回・中級4回）

高岡・射水・氷見支部税務研修会 計3回、女性部会税務研修会

③ セミナー、講演会

年末調整セミナー、税を考える週間特別講演会、青年部会セミナー

実施にあたり、できるだけ関心のあるテーマやホームページ・会報等を活用し早目の案内に心がけました。

法人会では、企業の税務コンプライアンス向上のための取り組みとして、企業における内部統制面や経理面に関する自主点検を推奨しており、全法連は、平成26年に「自主点検チェックシート」を作成しました。当会では、決算期別研修会において、「自主点検チェックシート」の活用について周知しました。

(2) 税の広報事業

広報活動の充実は、公益性向上に最も重要であることから、ホームページは県下の単位会とともに内容の充実に配慮し、きめ細かな情報提供に努めました。

また、会報「ほうじんHIT」と全法連情報誌「ほうじん」を市役所や商工会議所、商工会の窓口、税理士先生方や関係団体等に配布したほか、一部の金融機関にも会報を配布し、多くの閲覧を考慮しながら広報に努めました。

(3) 税の啓発及び租税教育事業

次代を担う児童や生徒が、税金の仕組みや役割などを理解するための租税教育事業を積極的に推進しました。

高岡・氷見・射水3市の小学6年生を対象に、青年部会が6校、女性部会が2校の計8校で租税教室を実施し、各部会の役員が同じ地域に生きる先輩として講師を務め、クイズなどを織り交ぜ、子供達に税の大切さを伝えたほか、女性部会は「租税教育バス」を運行しました。

また、全法連女連協主催の令和5年度「税に関する絵はがきコンクール」では、高岡税務署管内の小学生から737点の応募があり、高岡市立西条小学校の児童に「高岡税務署長賞」が贈られました。

(4) 税制改正の提言

「令和6年度の税制改正に関する要望」について、全国の法人会の役員を中心に「税制に関するアンケート」を行い、令和5年10月開催の第39回「法人会全国大会」群馬大会において、全法連税制委員長から、「令和6年度税制改正に関する提言」について報告がありました。

当会では、令和6年度税制改正に向け、11月の「税を考える週間」の期間中に、会長はじめ役員が地元の国会議員と3市長を訪問し、提言書を直接手渡し、要望活動を行いました。

2 地域企業の健全な発展、社会貢献事業

(1) 地域・企業の健全な発展に資する事業

会員をはじめ広く一般の企業及び市民を対象として、雇用管理研修会2回、総会記念講演会、新春講演会、公益共催セミナーを開催するとともに、書籍支援やネット研修も実施しました。

また、地域への社会貢献活動として、高岡市が企画する古城公園の美化清掃事業に支援参加しました。

(2) 地域社会への貢献を目的とする事業

租税教室開催校に対し、図書カードの寄贈を行ったほか、女性部会では、児童養護施設に子供用車自転車の購入費用として10万円を寄附、高岡市・射水市・氷見市の保育園等に会員による手作り雑巾を寄贈しました。

(3) 被災自治体等への寄附

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災した氷見市、高岡市、射水市に計200万円の災害復旧支援金を贈りました。

□ 共益関係

3 会員増強・会員支援事業

(1) 組織の充実・強化

会員の純増を目標に、親会・青年部会・女性部会役員が一丸となり、税理士先生、取扱保険3社のご協力を得て、会員増強に努めました。

しかしながら、新規加入は25社（前年31社）にとどまる一方、休廃業などの理由により84社（前年64社）の退会があり、令和6年3月末は△59社（前年△33社）の2,157社となりました。

■ 会員の状況は、以下のとおりです。 (令和6年3月31日現在)

区 分	所管法人	会 員 数	加 入 率
期首現在	6, 0 2 2社	2, 2 1 6社	3 6. 8%
当期加入会員数		2 5社	
当期退会会員数		8 4社	
期末現在	6, 0 1 6社	2, 1 5 7社	3 5. 9%

(2) 会員支援事業

令和5年度は、4年ぶりに会員相互の異業種交流を目的とした視察研修旅行「雪の大谷」日帰りバスツアーを実施しました。

また、部会員交流を目的とした、女性部会の視察研修旅行と教養講座、青年部会のセミナー懇親会も実施しました。

(3) 青年部会・女性部会

① 青年部会

青年部会活動の大きな柱である「租税教育活動」および「健康経営」について、積極的に取り組みました。

また、令和5年11月開催の第37回「全国青年の集い」山形大会では、全国から法人会青年部会員2,000余名(当会5名)が集い、「為せば成る!~感謝と恩返し of 想いを胸に~」を大会スローガンのもと、大会式典、租税教育活動のプレゼンテーション最優秀単位会並びに健康経営大賞最優秀賞の事例発表、記念講演会に参加し、全国の部会員と交流を深めてまいりました。

② 女性部会

「女性部会のあり方(指針)」に沿って、研修会、親睦交流等を通じて女性部会員の資質向上を図るとともに、税の啓発活動及び租税教育事業や地域への社会貢献活動を積極的に進めました。

また、令和5年4月開催の第17回「全国女性フォーラム」愛媛大会では、全国から女性部会員1,900名(当会5名)が集い、大会式典、会活動報告や夏井いつき氏の句会ライブに参加し、全国の部会員と交流を深めてまいりました。

4 会員のための福利厚生事業

法人会の福利厚生制度を取り巻く環境は厳しいことから、財政基盤の安定化と事業活動の充実を図るため、取扱保険3社及び組織委員会と連携し、福利厚生制度のPR活動に積極的に取り組みました。

□ 管理関係

1 諸会議

委員会活動を中心に、活発に事業を展開してまいりました。

2 経理処理

公益法人会計に添ったICTによる経理処理を進めました。